



01 国際交流員のコラム

- 私と茶道、そして鹿児島 鹿児島県国際交流員（チャ ケリー シンガポール出身）
- 中国の妖怪文化 鹿児島県国際交流員（許 奎（キョ ケイ）中国出身）

02 知事の動き

- 第47回霧島国際音楽祭ファイナル・コンサート、修了式に出席しました(8月9日)
- 韓国の旅行会社を訪問しました(8月12日)
- 駐日インド大使館において「鹿児島 DAY」を開催しました(8月25日)

03 かごしまのイベント情報

- 川内大綱引(9月22日)
- 🎉🎉 Coming UP! 【令和8年10月、11月のイベント情報】

○ 私と茶道、そして鹿児島

鹿児島県国際交流員（チャ ケリー シンガポール出身）

皆さんは「茶道」と聞くと、何を思い浮かべますか？お茶を点てること、正座、さまざまな作法など、人によって色々なイメージがあると思います。

私にとって茶道は、単に日本文化を学ぶためのものではありません。これまでの人生の中で、さまざまな人や場所との「ご縁」を結び、たくさんの出会いをもたらしてくれた、大切な存在です。

私は大学時代、日本で遠州流（小堀遠州を流祖とする、日本を代表する武家茶道）の茶道を学び始めました。茶道を通して、季節を感じることや、相手を思いやり、その時間を心地よく過ごしてもらう「おもてなし」の心を学びました。

その後、シンガポールに戻ってから茶道を続け、NUS（シンガポール国立大学）の茶道部に参加しました。シンガポールの大学の茶道部では、素敵な仲間に出会えたことに感謝しています。また、普段の活動だけでなく、イベントの手伝いなどにも参加しました。



▲お稽古中



▲家元から初伝をいただきました



▲シンガポール大学・日本文化際



▲ジャパン・クリエイティブ・センタのイベント



▲茶道部の先輩が手作りした和菓子



▲当時の茶道部部長がデザインしたステッカー

ある日、茶道部のイベントを手伝っていた時のことです。茶道部のブースの前を通りかかった方から、「国際交流員」という仕事を紹介するパンフレットをいただきました。その時は、その一枚のパンフレットが、まさか将来、私を鹿児島へ導くことになるとは思っていませんでした。

しかし、そのパンフレットをきっかけに国際交流員という仕事を知り、少しずつ興味を持つようになりました。そして今、私は鹿児島県で国際交流員として働いています。振り返ってみると、あの日の小さな出会いも、今の私につながる大切な「ご縁」だったのかもしれません。

また、茶道で大切にされている言葉の一つに「一期一会」があります。一生に一度の出会いだと思い、その一瞬を大切にするという心構えです。

今、鹿児島で新しい生活を始めた私は、この「一期一会」という言葉を以前より身近に感じています。これから国際交流員として出会う方々とのご縁も、いつ、どのような形で新しいつながりへ発展するのか、楽しみにしています。



▲茶道部の日常

私自身、茶道部のブースで一枚のパンフレットを受け取ったことが、国際交流



▲茶道部の日常

員という仕事を知るきっかけになるとは思っていませんでした。茶道から始まった私のご縁が、鹿児島で国際交流員として活動しています。だからこそ、これから鹿児島で出会う一人ひとりとの「ご縁」を大切にしたいと思っています。

○ 中国の妖怪文化

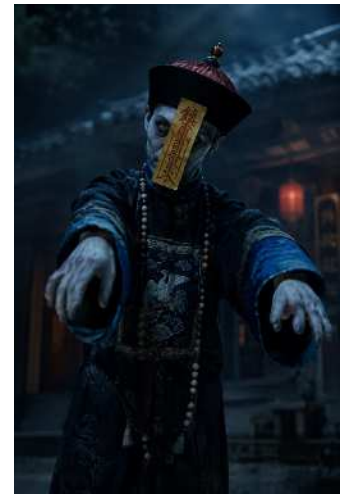
鹿児島県国際交流員(許 奎 (キョ ケイ)中国出身)

猛暑の夏、皆さんはこの酷暑をどのように過ごしていますか？中国には、物理的な冷却ではなく、心理的な冷却という特殊な暑さ対策があります。人々は妖怪の話を聞くと、しばしば「背筋が凍る」と感じ、冷や汗が噴き出し、それによって酷暑を忘れ、涼しさを感じることができるのです。今日は、中国の妖怪文化について一緒に学び、この酷暑を吹き飛ばしましょう！

妖怪その1: 僵屍(キョンシー)

国内外で広く知られている妖怪の一つとして、僵屍は間違いなく中国を代表する重要な妖怪文化と言えるでしょう。多くの人は僵屍という名前を耳にしたことがあり、その姿も知っていますが、それ以上知らないことは多くあるのではないかと考えています。

実は、「僵屍」という言葉は、道教(中国の三大宗教の一つ)の著作『^{だいせんろく}大千録』に初めて登場し、同書では僵屍を、四肢が硬直して頭を下げることができず、眼球を動かすことも、両脚を広げることもできず、しかも腐敗しない死体として描かれています。僵屍は天上・地下・人間のいずれにも存在せず、この世に身を置く場所がないため、あちこちをさまようしかないのです。



▲ 僵屍 (Chat GPTより作成)

明代中期(15世紀後半から16世紀前半頃)以降、社会の発展に伴い、人々の文化への需要も日増しに高まり、僵屍をテーマとした文学作品も次々と増えてきました。

明代中期から清代(17世紀～)にかけて、袁枚の『^{えんばい}子不語』や紀昀(紀曉嵐)の『^{えつびそうどうひっき}閱微草堂筆記』を代表として、僵屍を描いた作品は世間に広く流行りました。

近代以降、香港で一連の僵屍映画が大ヒットしたことを受け、僵屍のイメージが定着し、この怪物も国内外で広く知られるようになりました。

妖怪その2:画皮鬼(がひき)



▲画皮鬼 (Chat GPTより作成)

2008年、映画『画皮』の公開に伴い、多くの人々が画皮鬼を知ることになりました。この映画は、清代の作家・蒲松齡ほしやうれいの小説『聊齋志異りやうさいし い』を原作としており、狐の妖怪が人間の皮を被り、人心を喰らい、美貌を手に入れ、人間に恋をし、妻の座を奪おうとする物語を

描いています。

画皮鬼は毎晩、人皮を脱ぎ、それを加工して世の人々が好む姿に変えなければなりません。そのため、後に「画皮」は極めて象徴的な概念となり、外見は美しいが、内面の真の姿が全く異なるものを形容する言葉として使われるようになりました。

上記以外にも、中国の様々な著作には数多くの妖怪が登場し、中でも『山海経せんがいきやう』と『聊齋志異』が最も有名です。もし中国の妖怪文化をさらに深く知りたいのなら、関連する本やドラマを探して読んでみることをお勧めします。きっと新たな発見があるはずです！

02 知事の動き

○ 第47回霧島国際音楽祭ファイナル・コンサート、修了式に出席しました(8月9日)

国内外から著名な音楽家や受講生を迎え、みやまコンセールを中心に開催した第47回霧島国際音楽祭のマスタークラス修了式に出席しました。

ファイナル・オーケストラ・コンサートでは受講生も参加し、ヴァイオリニストのセルゲイ・クリーロフ氏によるヴァイオリン協奏曲をはじめ、叙情性と情熱に満ちた演奏を堪能しました。

受講生の皆さまが、この音楽祭で培った経験を糧として世界へ羽ばたき、将来、アーティストとして再び霧島の地に戻ってこられることを楽しみにしています。

また、今回は、堤音楽監督のもとで開催される最後の音楽祭となりました。長年にわたるご尽力に深く敬意を表しますとともに、音楽祭を支えてこられた関

係者の皆さまに心より感謝申し上げます。



▲霧島国際音楽祭の様子



▲樹災の様子

○ 韓国の旅行会社を訪問しました(8月12日)

韓国・ソウルにおいて、韓国の大手旅行会社である韓進トラベルと HANA TOUR を訪問しました。

韓国から本県へのお客様は、冬場はゴルフや温泉を目的に多く来られていますが、夏場が少ないという現状があります。

旅行会社との意見交換では、私から、本県には豊かな自然環境や日本一の食があること、また、夏におすすめの観光コンテンツとして、世界自然遺産の屋久島での森林浴や滝めぐり、指宿の唐船峡でのそうめん流し体験などを紹介しました。

今回のセールスでの成果を、今後の韓国からのさらなる誘客促進に生かしてまいります。



▲意見交換の様子▲

○ 駐日インド大使館において「鹿児島 DAY」を開催しました(8月 25 日)

駐日インド大使館において、「鹿児島 DAY」を開催しました。

当日はインドとつながりのある事業者やインド本国の経済界など、約 170 名もの方々にご参加いただきました。

このイベントは、本県とインドの相互理解を深め、新たな関係を築く第一歩となるものであり、セミナー及び交流会では、県内事業者の皆さまとともに、鹿児島島が誇る食や文化などの魅力を幅広く PR することができました。

また、イベントに先立ちスーダン首席公使を表敬訪問し、今後の多様な分野における連携について大変有意義な意見交換を行うことができました。

今回のイベント開催を契機として、本県とインドとのさらなる交流拡大に向けて取組を進めてまいります。



▲セミナーの様子



▲交流会の様子

03 かがしまのイベント情報

○ 川内大綱引(9 月 22 日)

毎年 9 月秋分の日の前日に開催される、薩摩川内市の伝統行事。

当日は朝から自衛隊川内駐屯地、建設業協会、地元の高校生・中学生、一般市民など一丸となって綱練りが行われました。

長さ 365m、重さ約 7 トンを誇る日本一の大綱。

歴史は長く、420 年以上続く伝統行事です。一説には関ヶ原の戦いの際に士気を高めるために島津義弘が始めたと言われています。

○鹿児島県の無形民俗文化財○

大綱引当日に朝から約 1,500 人の人々が 365 本の縄から半日以上かけて 1 本の綱へと練り上げる。夜の大綱引きでは長さ 365m、重さ 7 トンの大綱を約 3,000 人の上半身裸にサラシを巻いた‘ハダカ’と呼ばれる男たちが一斉に引き合います。相手の引き隊を邪魔するために相手陣内に押し込んでいく押し隊と呼ばれる男たちの体と体が激しくぶつかり合う様が見る物を圧倒する勇壮な綱引です。



▲川内大綱引の様子「© K. P. V. B」 ▲

🎉📅 Coming UP! 【令和8年10月、11月のイベント情報】

◇ 10月

10日～11日 2026 阿久根みどこい祭り(11日:花火大会)(阿久根市)

17日～18日 鹿児島ジャズフェスティバル(鹿児島市)

30日～11月3日 美山 CRAFTWEEK2026(日置市)

31日～11月3日 いずみマチ・テラス～竹灯籠でつなぐ光の祭典～(出水市)

◇ 11月

1日 薩摩川内はんやまつり(薩摩川内市)

2日・3日 おはら祭り(鹿児島市)

3日 弥五郎どん祭り(曽於市)

29日 第33回 ヨロンマラソン(与論島)

ぜひ、足を運んでみてください♪



編集後記 (鹿児島県 総合政策部 国際戦略課)

皆さん、こんにちは！！

9月から、シンガポール出身の国際交流員チャ ケリーさんが国際戦略課で勤務しています！今回はチャ ケリーさんの初コラムになります ✨ 茶道がきっかけで国際交流員として鹿児島で勤務するなんて、素晴らしい「縁」ですね！

来月号の国際交流員のコラムもご期待ください！

9月はお楽しみいただけましたか？10月は、楽しいイベント盛りだくさんです 🎃

食欲の秋 🍁 スポーツの秋 🏊 芸術の秋 🎨 読書の秋 📖 そしてハロウィン 🎃

秋の行事も目白押しですね～！

寒暖差のある時期ですので、お体に気を付けてお過ごしください。

それではまた次号もお楽しみに☆彡

「かごしま南の風便り掲示板」では、次の鹿児島に関する話題を募集・掲載いたします！

☆鹿児島フォトギャラリー

鹿児島らしさを感じる写真や海外で見つけた鹿児島の写真を募集いたします。
写真の簡単な説明を添えてお送りください（例：克灰袋の山）。

その他、読者の皆様に発信したい情報もお待ちしております。

▲▽ 記事提供・お問い合わせ先 ▼▲

鹿児島県総合政策部 国際戦略課
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10-1

電話番号: +81-99-286-2306

FAX 番号: +81-99-286-5522

E-mail: minami@pref.kagoshima.lg.jp

- ・ 鹿児島県庁ホームページ

<http://www.pref.kagoshima.jp/>

- ・ 広報紙「県政かわら版」

<http://www.pref.kagoshima.jp/kohokocho/kouhoushi/kohosi/kawara/index.html>

- ・ 鹿児島県観光サイト かごしまの旅

<https://www.kagoshima-kankou.com/>



※ 本記事の著作権は鹿児島県に属します。無断での再配信、転載及び掲示板等への掲載は禁止します。